



子供への言葉かけ

いよいよ師走に入りました。校庭の木々の葉が散り始め、冬が近付いていることを実感します。

本校の教育活動のねらいの最重点は、「自己肯定感の向上」です。そのためには、子供たちが自分の成長を実感し将来への希望を抱くことが大切になってきます。また、周囲の理解や受け止めが欠かせません。私たちは、子供に何気なくいろいろな言葉かけをしています。その言葉かけが、その子のことをしっかりと見守り、思いを理解しているかどうかによって、かける言葉も違ってくるのではないのでしょうか。大人の意識や姿勢が、言葉になって出てくるように思います。

下の詩は、アメリカの教育学者ドロシー・ロー・ノルト氏の著書「子どもが育つ魔法の言葉」の中にある『子は親の鏡』という詩です。親や家庭という言葉を、教職員・学校・学級に置き換え、子供たちを大切に育てていきたいと考えています。

『子は親の鏡』

「子供が育つ 魔法の言葉」ドロシー・ロー・ノルト著 より

けなされて育つと、子供は、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子供は、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子供も不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子供は、みじめな気持ちになる

子供を馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる

親が他人を羨(うらや)んでばかりいると、子供も人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子供は「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子供は、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子供は、明るい子に育つ

愛してあげれば、子供は、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子供は、自分が好きになる

見つめてあげれば、子供は、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子供は、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子供は、正直であることの大切さを知る

子供に公平であれば、子供は、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子供は、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子供は、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、子供は、この世の中はいいところだと思えるようになる



電動車椅子サッカー体験会（4・6年生）

11月8日（火）横須賀アリーナで、電動車椅子サッカー体験会が行われました。当日は、電動車椅子サッカーチーム「横浜クラッシューズ」の監督と日本代表に選出されている三上勇樹選手をはじめとする選手2名が講師を務め、前半は、電動車椅子サッカーのすごさなどの話がありました。後半では、代表の児童が電動車椅子に乗り、走行やシュートなどの体験をしました。11月25日（金）のTVK「キックオフF・マリノス」で、その模様が放映されました。



BMXフリースタイルパーク「学校訪問」（5・6年生）

11月21日（月）、自転車競技BMXフリースタイルの日本代表監督の出口智嗣氏と日本の強化指定選手の大和（おわ）晴彦選手と内藤寧々選手の3名が来校しました。2校時には、BMXに出会ったきっかけやBMXの楽しさ、夢や希望などについての講演、3校時には、本校体育館で右の写真にあるような、プロのトリック（技）を間近で体感できるデモンストレーションがありました。子供たちからは、大きな歓声（悲鳴）があがりました。大和選手は横須賀市出身の20才、内藤選手は茅ヶ崎市出身の16才（高校2年生）です。2人とも2024年のパリ五輪を目指しています。



児童陸上記録大会

11月26日（土）、不入斗運動公園陸上競技場において、第54回児童陸上記録大会が4年ぶりに開催され、本校からも校内予選を突破した5・6年生が出場しました。代表選手は右の通りです。

5年 100m走	田中凜 松井潤希 池守元気 栗本莉央和
5年 ソフトボール投げ	恵川沙良 竹内翔琉
5年 走り幅跳び	村上綾乃 木村元人
6年 100m走	藤井美礼 菅野菜ノ花 高橋宏斗 嘉山碧樹
6年 ソフトボール投げ	佐藤唯鈴 川邊銀士
6年 走り幅跳び	原空良 見付壮真
6年 走り高跳び	小林加奈 小澤海颯
女子4×100mリレー	菅野菜ノ花 伊藤琳果 三留日菜子 藤井美礼
男子4×100mリレー	羽根悠翔 高木琉生 後藤瑠海 鈴木大翔

12月 主な予定

- 6日（火） クラブ活動
- 7日（水） 市児童ボール大会（6年生）
- 9日（金） あすなろ音楽会
- 14日（水） 代表委員会
- 15日（木） 横須賀美術館見学（6年生）
- 23日（金） TV朝会 給食終了
- 26日（月） 冬季休業開始 < 1月6日（金）まで冬季休業（登校開始は10日（火）） >
※12月28日（水）と1月4日（水）は、学校閉庁日となります。

